科目ナンバリング	G-LAS13 80023 LJ90						
授業科目名<英訳>	健康・予防医療学領域の実装科学 Implementation Research in Health and Preventive Medicine			担当者所属職名・氏名	医学研究科　教授　石見　拓 医学研究科　特定教授 高橋　由光 医学研究科　特定講師 島本　大也 医学研究科　特定助教 今村　知彦		
群	大学院横断教育科目群	分野(分類)	健康・医療系			使用言語	日本語
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	木2	配当学年	大学院生	対象学生	全学向

（医学研究科の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

医療・医学の進歩に伴い、その成果を臨床現場や社会に効果的・効率的に導入し、普及させる重要性が高まっている。この医学研究の成果である、健康関連アウトカムに対しての有効性が実証されている介入（エビデンスに基づく介入、evidence-based intervention、EBI）を現場で実際に活かすプロセスを深く掘り下げるのがImplementation Science（実装科学）である。EBIに関する情報等を、実際に必要な対象に届くように、拡散・維持することを目指すdissemination research（普及研究）とあわせ、D&I研究とも呼ばれる。

本科目では、予防医療学分野、蘇生科学分野において、医学研究が臨床や社会で具体的に生かされるまでのプロセスに触れながら、実装科学の基本から応用に至るまでの理論、手法、戦略を包括的に学ぶ。EBMにおける実装科学の役割、主要な理論モデル、変革を推進するリーダーシップとコミュニケーション戦略、ステークホルダーとの関係構築、さらには社会的、文化的、政治的なコンテキストにおける実装科学の実施について、講義とチュートリアルの形式で実践的に学びます。講義は、予防医療学分野の教員陣を中心に提供するほか、外部講師として、臨床現場で活躍する専門家の生の声を直接聞く機会を提供する。

[到達目標]

・予防医療学分野、蘇生科学分野における実装科学の実際を理解する。
・実装科学の基本から応用に至るまでの理論、手法、戦略を包括的に学び、説明ができるようになる。
・医学研究と臨床現場や社会での実装の間のギャップについて理解する。
・EBMにおける実装科学の役割、主要な理論モデルを理解する。
・変革（イノベーション）を推進するリーダーシップ、コミュニケーション戦略、ステークホルダーとの関係構築について理解する。
・事例研究を通じて、実装科学の理論と実践の統合を図り、研究の実装を通じて、臨床現場、社会の健康課題を解決する能力を獲得する。

[授業計画と内容]

（※変更の可能性があるので開講日に確認して下さい）
第1回　10月1日　実装科学と普及研究が求められる背景と概要（実践科学の定義と範囲、医学研究と実践のギャップ）
第2回　10月8日　実装科学の実例（蘇生科学分野・予防医療学分野）
第3回　10月15日　実装科学の理論、モデル、フレームワーク
第4回　10月22日　EBMにおける実装科学の役割
第5回　10月29日　実装科学における戦略と方法論
第6回　11月5日　実装に向けたステークホルダーとの共同、資金獲得、リソースの確保
第7回　11月12日　実装科学と臨床現場、社会の繋がり（外部講師）
第8回　11月19日　実装科学に基づく政策と実施

健康・予防医療学領域の実装科学(2)へ続く↓↓↓

健康・予防医療学領域の実装科学(2)

第9回　11月26日　実装科学による改善のサイクル
第10回　12月3日　実装科学とイノベーション
第11回　12月10日　スケーリングアップと拡散
第12回　12月17日　チュートリアル(1)
第13回　12月24日　チュートリアル(2)
第14回　1月7日　チュートリアル(3)
第15回　1月14日　予備日
第16回　1月21日　予備日
第17回　1月28日　予備日

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

レポート50%、チュートリアル25%、平常点評価25%にて、60パーセント以上を合格とする。平常点評価には、授業への参加状況、２、３回の授業ごとに課すミニテストや小レポートの評価を含む。

[教科書]

高橋由光、石見拓『実践！実装科学』（インターメディカ、2025）ISBN:489996496X

[参考書等]

（参考書）
『Implementation Science』（Cambridge University Press, 2022）ISBN:100923708X（https://www.cambridge.org/core/elements/implementation-science/9E9361E2F6C1A3B894C6D202031ECD19）
『Practical Implementation Science: Moving Evidence into Action』（Springer Pub Co., 2022）ISBN: 0826186920

[授業外学修（予習・復習）等]

予習として、講義に該当する箇所を教科書や参考資料で事前に学習し、基本的な概念や専門用語を確認しておくことが望ましい。復習では、授業内容を整理し、理解を深めるとともに、自身の研究分野への応用を考え、具体的な活用イメージを描くこと。

[その他（オフィスアワー等）]

【連絡先】　石見　拓 予防医療学分野　先端科学研究棟　３階３０８号室
TEL: 753-4400（代）　E-mail: info@yobou.med.kyoto-u.ac.jp
※オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

[主要授業科目（学部・学科名）]